

<p>【テーマ】</p> <p>1 事業種別連絡会の活性化（特に、居宅介護等連絡会の活性化）</p> <p>2 開成地区での他の職種（町内会、民生委員、包括支援センター等）とのつながり作り</p>
<p>【部会活動の主な内容・議題】</p> <p>1 自立生活支援部会「にも包括」と連携した、開成地区での地域ネットワークの関係作り。また、開成地区での取り組みを踏まえ、次年度以降は、他地域での福祉職等のネットワークへの障がい福祉事業所の参画に取り組んでいく。</p> <p>2 居宅介護等連絡会、生活介護・自立訓練連絡会の活性化。その中で、共通した悩み・課題の共有や話し合いを通して、その解決に努めていく中で、事業所間の横のつながりを確立する。</p> <p>ネットワーク部会 開成地区の専門職の集まりに、地域の障がい福祉事業所の呼びかけ、参加していただきました。まずは、地域に障がい者の事業所があることについて認識していただき、今後交流を深める中で、地域生活への理解や防災等につなげていければと思います。</p> <p>事業別連絡会の開催</p> <p>(1)生活介護・自立訓練連絡会 昨年度から、定期的に連絡会、事業所見学会が開催され、その中で他事業所との連携の基礎ができつつあると思われる。今後も継続する中で、生活介護・自立訓練事業所の共通の課題について話し合う場などができることによって、市内の障がい者の日中活動の質の向上につなげていきたい。</p> <p>(2)居宅介護等連絡会 今年度は、まず連絡会を開催することを目標に進めてきた。今年度は下記に示すように参加事業所が少なく、改めて居宅介護事業所の連絡会の取り組みの難しさを実感した。</p>
<p>【部会開催日程】</p> <p>○開成地区において、自立支援部会「にも包括」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年8月1日(木) 「にも包括WG」へ、開成地区の障がい福祉事業所が参加 ・令和6年9月10日(火) 開成地区地域ケア会議へ、開成地区の障がい福祉事業所が参加。 その後、郡山医療生協の「えんがわ」へも参加するようになる。
<p>【連絡会活動の主な内容・議題】①</p> <p>○居宅介護等連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア会議 ・連絡会 <p>第1回 10月17日(木)10時30分～ テーマ：「人材定着」「魅力ある職場づくり」 参加事業所：5事業所 内容：長く勤められているヘルパーから、この仕事の魅力、長く継続できた理由などのお話を伺うことを通して、人材募集や定着などに活かせるヒントをいただき、自分たちの事業所で取り組めること、また人材定着の悩みなどについて話し合いをもった。参加事業所が少なく、今後はどのような内容なら参加事業所が増えるのか（興味があるのか）を検討していく必要がある。</p> <p>第2回 令和7年3月14日(金)10時30分～12時 参加事業所：事業所</p>

内容：①郡山市障がい福祉プランからみえる居宅介護等（行政説明）

②居宅介護等事業所の課題の共有

郡山市の障がい福祉担当者さんから第6期障がい者福祉プランの居宅介護等に関する説明をいただき、プランへの理解を深めた。また課題の共有では、改めてヘルパー不足についての課題が出され、各事業所独自の取り組みについて報告された。その中で、精神・発達障がいを持つ方の障がい福祉サービスへの雇用についての話題が出たため、自立支援協議会として検討することになったり、意外に知られていない事業を行う上での情報を共有したりすることができた。

一方で、参加事業所が少ないという問題は解決されず、来年以降、連絡会の進め方も含めて次年度以降検討が必要。

【連絡会活動の主な内容・議題】②

○生活介護等連絡会

- ・コア会議 10月29日（火）10時30分～

内容：事業所見学会の反省、第3回連絡会について

令和7年2月5日（水）10時30分～

内容：第3回連絡会の打ち合わせなど

3月4日（火）10時～

内容：令和7年度の年間計画について

- ・連絡会 第2回 事業所見学会を開催。

日程：9月20日、25日、27日、10月8日、15日

受入事業所：パツソ、あどばんす、にんじん舎

見学参加事業所数：10事業所

- ・参加事業所からは、「他事業所の取り組みを知ることができた」、「ニーズにあった介護を知ることができた」「(他事業所の)創作活動を知ることができ、今後に活かしたい」などの好意的な感想があがり、次年度以降も継続してほしいという意見が多かった。

しかし今回、参加事業所が前年度よりも少なかった点について、今後参加日程などの検証が必要。

【協議・報告事項】

《居宅介護連絡会のコア会議より》

現在、全国的に障がいに限らずヘルパー不足が起きており、また今後その傾向はこのままだと加速するものと思われる。一方で、精神・発達障がい者がヘルパーとして活動している事業所も出て来ている。

そこで、精神・発達障がい者、また知的障がいの方の就労先の一つとして障がい福祉サービス事業所を検討できないか、令和7年度、他の部会・連絡会などと連携して協議したい。

《令和7年度のネットワーク部会について》

昨年度から、参加事業所数が少ないという課題はありつつも居宅介護の連絡会が活動を開始し、これで事業種別の連絡会が全てスタートしたこととなる。

一方、地域ネットワークの構築については、事業所の偏り等の課題もあり、昨年度は進捗しなかった。今年度は自立生活支援部会の「にも包括WG」の協力も得て、開成地区で、地域の方や他の専門職との集まりに地域の障がい福祉事業所が参加することができた。にも包括WGとは、障がい種別を除けば目指すところは同じため、ネットワーク部会の活動は、今後自立生活支援部会に集約することとなった。